

ワクチンで 带状疱疹 予防しませんか？

带状疱疹は、水ぼうそうと同じウイルスで起こる皮膚の病気です。水ぼうそうが治ってもウイルスは体内の神経に潜み、加齢やストレスなどで免疫力が低下した時に再び活動を始めます。体の左右どちらかの神経に沿って、痛みを伴う赤い発疹と水ぶくれが多数集まって带状疱疹に生じるのが特徴です。合併症の一つに皮膚の症状が治った後にも痛みが残る「带状疱疹後神経痛」があります。带状疱疹は、70歳代で発症する方が最も多くなっています。この带状疱疹を予防するワクチンが令和7年4月1日より定期接種となりました。

带状疱疹は予防できる？

带状疱疹の発症や重症化を防ぐために、現在日本では2種類のワクチンが使われています。

弱毒性水痘ワクチン		シングリックス
生ワクチン	種類	不活性化ワクチン
1回	接種回数	2回（2か月間隔）
皮下注射	投与方法	筋肉内注射
50歳以上：69.8% 60歳以上：51.3%	带状疱疹 発症予防効果	50歳以上：97.2% 70歳以上：89.8%
60歳以上：66.5%	神経痛 抑制効果	50歳以上： 100% 70歳以上： 85.5%
5年程度	効果持続期間	10年以上持続
局所反応・発熱 水痘様発疹（1～3%）など	副反応	局所反応・筋肉痛（40%） 発熱（18%）など多め
4,000円（税込）	費用 （越谷市定期接種対象者）	1回 12,000円（税込） 2回接種が必要

当院でも接種が可能です。
詳しくは新越谷病院
TEL:048-964-2211（代表）
までお問い合わせください。



ワクチンにより、発症リスク・重症化・後遺症（带状疱疹後神経痛）を大幅に減らすことができます。

移転情報

2026年10月新築移転予定！

新越谷病院は新築移転し

「イムス埼玉越谷病院」

に生まれ変わります！

地鎮祭が無事に終了し、いよいよ新しい病院の建設工事が本格的に始まりました。こちらが現在の工事現場の様子です。基礎工事が進行中で、くい打ち作業も無事に終了しました。完成に向けて確実に一歩一歩進んでいます。

今後も随時情報をお届けしていきます。
引き続きご注目ください！



2025年5月現在



2025年4月現在

広報誌についてのご意見ご感想・取り上げて欲しい内容・当院への要望
移転についての聞きたいこと、要望など、皆さまの声をお聞かせください！

アンケートはこちら



頭痛・めまい・しびれ

その症状そのままだと危険かも

こんな症状ありませんか？

- ☐ 頭痛
- ☐ めまい
- ☐ しびれ
- ☐ 物忘れ
- ☐ ふらつき
- ☐ 痙攣（けいれん）
- ☐ 言葉が出にくい、呂律が回らない
- ☐ 物が二重に見える、視野が欠ける
- ☐ 手足の力が入らない、動きにくい
- ☐ 意識障害



一つでも当てはまったら 脳神経内科

への受診をおすすめします。

脳神経内科ってどんな科？

脳神経内科は、脳、脊髄、神経、筋肉の病気を診る専門科です。頭痛、めまい、しびれ、物忘れなど、日常で感じる様々な症状が、実は神経の病気のサインかもしれません。

脳神経内科で扱う主な病気

- 脳卒中（脳梗塞、脳出血、くも膜下出血）
- パーキンソン病
- アルツハイマー病を含む認知症
- てんかん
- 多発性硬化症
- ギラン・バレー症候群
- 筋萎縮性側索硬化症（ALS）
- 頭痛
- めまい
- 末梢神経障害

受診をためらわないで
「年のせいだから」「大したことないだろう」と自己判断せずに、
気になる症状があれば早めにご相談ください。
早期発見・早期治療が大切です。

脳神経内科 外来診察日	月	火	水	木	金	土
午前受付 診察時間	08：30～12：30	●	/	●	●	/
午後受付 診察時間	13：00～16：30	/	/	●	●	/
	14：00～17：00					

その「うっかり」見過ごさないで 脳神経内科で相談できます

忘れっぽいのは年齢のせい？実は認知症の初期症状であることも…
脳神経内科では加齢によるものなのか、病気のはじまりなのか医師が診断し、適切なアドバイスや治療を行います。
早期発見・早期治療によって、症状の進行を遅らせたり、生活の質を維持することが期待できます。
気になることがあれば、脳神経内科の医師にご相談ください。

最近忘れっぽい、そんなことはありませんか？

✓ もの忘れチェックテスト

- ☐ 同じことを何度も質問したり、話したりすることがある
- ☐ 約束を忘れることがある
- ☐ 置き場所を忘れて、探し物をすることが増えた
- ☐ 電化製品の使い方を忘れてしまうことがある
- ☐ 知っている人の名前が出てこないことがある
- ☐ 最近、料理の味付けが濃くなった、または薄くなったと言われた
- ☐ 日付や曜日がわからなくなることがある
- ☐ 人の話を理解するのが難しくなった
- ☐ 以前は簡単にできていたことが、今は難しくなった
- ☐ 趣味や興味のあることに対する関心が薄くなった



3個以上チェックが
ついた方は要注意！

もの忘れが
進行している可能性も…

チェックシートはあくまで受診のきっかけを作るためのツールであり、診断を確定するものではありません。
最終的な診断は医師による診察と検査が必要です。
日常生活で多少のものは誰にでもあります。チェックの数に関わらず、もの忘れの頻度や程度が気になる場合は必要に応じて受診を検討しましょう。

=== もの忘れ(健忘) ===

- ・体験の一部を忘れる
- ・物忘れを自覚している
- ・探し物を努力して見つけようとする
- ・日常生活に支障がない
- ・きわめて徐々にしか進行しない

===== 認知症 =====

- ・体験全体を忘れる
- ・物忘れの自覚に乏しい
- ・探し物を「誰かが盗った」と言う事がある
- ・日常生活に支障がある
- ・進行性

夕食何食べたっけ？と経験したことの一部を忘れるのが「もの忘れ（健忘）」
思い出そうとすれば思い出せることが多い。

夕食を食べたこと自体を忘れるのが「認知症」
思い出そうとしても思い出せないことも。

一人で悩まず、まずはご相談ください。
ご本人やご家族の不安を軽減し、安心して生活を送れるようサポートいたします。

バランスの良い食事

野菜、果物、魚、全粒穀物などを中心とした健康的な食事は、脳の健康にも良い影響を与えます
加工食品、飽和脂肪酸、糖分の過剰摂取はNG！



適度な運動

週に150分以上の適度な運動（ウォーキング、水泳など）は、認知機能の低下リスクを減らすのに役立ちます



外出の機会を作る



家族や友人と過ごす：
社会的な交流は認知機能の維持に重要です

地域活動に参加する：
ボランティア活動やサークル活動など、地域社会との関わりを持つことは、認知機能の低下を防ぐのに役立ちます

頭の体操をする



新しいことに挑戦！：
新しい言語、楽器、趣味などで脳を刺激しましょう

パズルやゲームをする：
クロスワードパズル、数独、ボードゲームなどは、認知機能を鍛えるのにおすすめ

読書をする：
読書は脳を活性化させます

どんな診察をするの？

問診

ご本人やご家族から、日常生活の様子や症状について詳しくお聞きします

脳画像検査 CT・MRI

必要に応じて、脳の状態を詳しく確認します
（検査内容によって他院へ紹介させていただくこともあります）

認知機能検査

記憶力や判断力など、認知機能の状態を調べます

血液検査

他の病気が隠れていないか確認します

薬物療法

認知機能の低下の進行を遅らせる薬を処方します。生活に悪影響を与える行動・心理状況を抑えるために、睡眠導入剤・抗不安薬などを処方することもあります。
抗認知症薬の対象はアルツハイマー型認知症・レビー小体型認知症です。

非薬物療法

薬を使わずに脳を活性化させ、残っている認知機能や生活の質を高めることが狙いです。生活リハビリ（お料理、洗濯等）、脳トレやゲームなどのリハビリ、園芸・音楽療法・回想法などがあります。

治療法は？

「もの忘れ」と「認知症」
って何が違うの？



IMS(イムス)グループ 医療法人財団 明理会
新越谷病院

お問い合わせはこちら TEL：048-964-2211（代表）

